

想定外の減収でも助かった

2020年から収入保険に加入しています。農業共済新聞に新制度として掲載されているのを見て興味を持ち、NOSA Iの職員から説明を受けました。以前から青色申告をしており、掛金が思っていたほど高くなかったため、すぐに加入を決めました。

その年の6月に入院することになり、農繁期にもかかわらず水稲の管理が思うようにできませんでした。想定外の大きな減収になってしまいましたが、簡単な手続きで保険金を受け取ることができたので、非常に助かりました。

農業はさまざまな要因に左右され、特に天候は自分の力ではどうにもなりません。さらに、新型コロナウイルスの流行など新たなリスクもある中で、農業を維持するためには、収入保険への加入は欠かせないと思います。この保険は私にとって、「安心切符」となっています。

私の経験を通して、周りの農家にも収入保険を勧めています。大型農家の方には、経営安定のためにもぜひ加入してほしいですね。

▷水稲4.3ヘクタール、肉用牛5頭



庄原市 藤原 富雄さん（72歳）